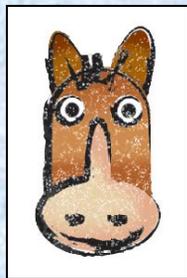


馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2013年8月1日

発行元 (有)沼津電話工事

スマイルワン

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

ono@net-ndk.co.jp

【ニコッ！】

先日、コンビニである出来事に遭遇しました。

おにぎり2個と飲み物を買おうと、レジに持っていくと店員の女の子が私のおにぎりを、コロッと床に落としてしまったのです。

食べ物を床に落したのですから、てっきり私は別のものに変えてもらえるのだと思っていたのですがその店員さんは、慌てておにぎりを拾い上げ、私の顔を見て“ニコッ”って笑って、何の躊躇もなく買い物袋に入れたのです。

「ちょっと待ってよ！ おにぎりは食べ物ですよ。いくら5秒以内でも、それはないでしょ！！」と言いたかったのですが、“ニコッ”にやられてしまい、何も言えず、コンビニを出ました。

あるレストランではこんなことがありました。そのレストランでは、食券を購入してから席に着きます。私はカレーライスを購入し、席に着きました。食券って同じものが二つ書いてあって、その場で切り離して半分は持っていき、半分をテーブルの上に置いておくのが普通じゃないですかあ～。なのに、私のところに来た新人ばいおばちゃんは、その食券、全部を持っていっちゃったんです。（食券乱用ですよ。）

私は、あれ？全部持ってっちゃったよ！ と思ったのですが、まあ、そういうところもあるのかな？ と何も言いませんでした。

もちろん、そのレストランのお客様は私だけではなく、案の定、そのおばちゃんは誰が何を注文したのか？ が分からなくなってしまったようです。ベテランのおばちゃんは、怒るに怒りきれません。その新人ばいおばちゃんに注意しながら、頭をペコペコさげてテーブルを回り、再度注文を聞き直しをしています。「やっぱりそういう事になったか！」

そのおばちゃんの失敗で、時間もかかってしまい、私はちょっとイライラしたのですが、ようやくカレーライスを届けに来た新人おばちゃん、私の顔を見てどうしたと思います？ “ニコッ”って笑ったのです。この状況で“ニコッ”って出来るおばちゃん、タダものじゃありません。でも、なんかホッとしちゃいました。

“ニコッ”にやられてしまった2つの出来事でした。

沼津経営塾開催日

8月1日(木)沼津市民文化センター第四会議室 PM7:00より

【さわやか】

今年も岩手県にボランティアに行ってきました！そこで、一緒に行った仲間たちと、ちいさな食堂で昼食をとっていると、私たちの前にいた若者たちが、何故か静岡の話をし始めました。まさか、岩手県で静岡の話の聞くとは…

女子A「静岡には美味しいハンバーグ屋さんがあるんだよ。」

男子B「お茶でも入ってるのか？（笑）」

女子A「『さわやか』っていう店なんだけどチョーヤバイよ！」

女子C「そうそう、あそこの食べたら、他のハンバーグは食べれないよねえ～」

なにい～？ 静岡にそんな美味しいハンバーグのお店があるのか？ 凄く興味がわきますよね！

早速その話を家族にすると、娘は食べた事があり、意外と低価格で確かに美味しいというのです。それなら、今度家族で食べに行こうということになり、先月「さわやか」に行ってきた。

お店に着いたのは午後2時くらいでしたが、入り口には長蛇の列、お店の外まで並んでいます。駐車場は満車に近く、並んでいる車を見ると、他府県のナンバーが多い！ 妻もテンションが上がり、順番を待つ間、スマートホンで情報を収集し始めました。すると熱狂的なファンがいて、お勧めのメニューや食べ方などがたくさん記されています。恐るべし！

ようやく順番が来て注文、熱い鉄板の上に乗せられた“げんこつハンバーグ”が到着。店員さんが目の前で半分に切って、鉄板でジュージューしてくれます。味ですか？ 確かに美味しいです！（個人的感想であり、味を保証するものではありません。汗）

斉藤一人さんによると、繁盛店などに行って“アラ”を探すのは「負ける人の考え方」だそうです。どんなに正しい事を言っても、その繁盛店より儲かっていないのは、その考え方に問題があるということです。これだけ支持されるにはそれなりの理由があり、そこから良いところを見つけ、素直に学び、自社でとっとと実践する。それが「勝つ人の考え方」だそうです。自分より優れた人にも同じですね！ 皆さんはどちらですか？

【いまだ根強いガラケー】

ある研究所が、ガラケーを使い続けているユーザーを対象に調査した結果、約8割がスマホの購入を決めていないどころか、6割はスマホの必要性を感じていないそうです。また、通話とメールは頻繁に使うものの、ネットの使用はあまり無い。スマホ一色になりつつある一方で、ガラケーへの回帰のような現象も起こりつつあるようです。



お馬様の
今日のお言葉

現
実
道
皮